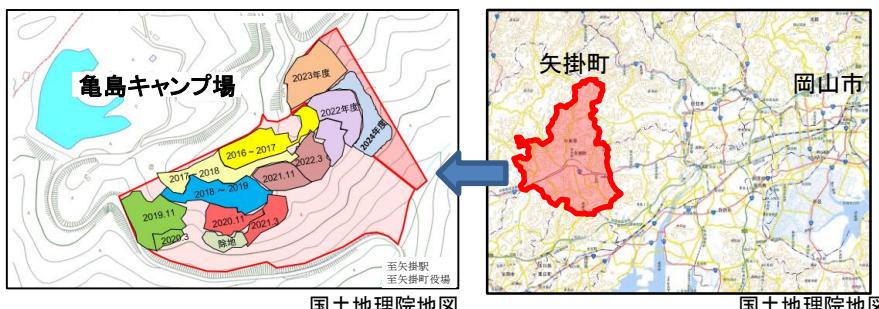


マツタロウの森

当社は、来年150周年を迎えます。2016年、創業140周年記念事業の一環として、1万本の抵抗性アカマツの植林を目標とする「マツタロウの森」を、岡山県小田郡矢掛町の町有林をお借りして開園しました。まだ“森”と呼ぶには早いものの、一本一本が着実に成長し、植林本数も目標達成に向けて順調に進んでいます。私たちの原点である“松”と、地域とのつながりを未来へとつなぐこの取り組みを、これからも大切に育んでまいります。

岡山県「企業との協働の森づくり」への参画

- 2016年9月5日、矢掛町と森づくり協定書を締結
- 2016年11月6日、「マツタロウの森」の開園式、第1回の植栽を実施
- 以降、年3回(3月、7月、11月)活動を継続、これまで約2.7haに植栽
- 2026年まで約10年をかけて、約3haから拡張した4.3haに約1万本の抵抗性アカマツを植栽中
- YUNGA Forests Challenge Badgeプログラム: 矢掛小学校5年生を対象に森林教育プログラムとして活用(2023~)
- 2025年7月1日、森林管理フェーズへ移行するため協定期間を5年間延長する森づくり協定書を新たに締結(~2032)



国土地理院地図



岡山県木であり矢掛町木でもあるアカマツを植栽

植栽活動は、大阪(本社、工場、研究所)、岡山(水島工場)などの従業員がボランティアとして参加します。県の専門家のアドバイスを受けながら、抵抗性アカマツを中心に植栽し、アカマツ林の再生を目指します。



矢掛町植栽場所全景



11月植栽

ロジンとは、松やにを精製した樹脂のこと。ネバネバした性質のロジンは、素材と素材をつなぐチカラを持ち、粘着テープや接着剤のほか、紙にじみ止め薬品などにも活かされています。



松やに採取



ロジン



7年松



11月植栽



3月植栽



荒川化学工業株式会社

